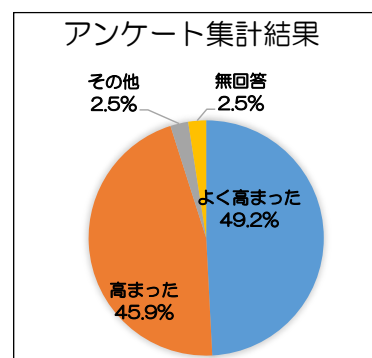


令和7年度 保幼小連携講座 保幼小連携講演会

目 的	乳幼児教育・保育施設長と職員、小学校及び義務教育学校長と教職員が互いの垣根を越え、保幼小連携を理論的な面から学び、連携の必要性を理解し、保幼小連携の推進を図る
日 時	令和7年6月18日（水）14：30～16：00
対 象	乳幼児教育・保育施設職員、小学校及び義務教育学校職員、 ＊西九州させぼ広域連携都市圏対象研修 ＊「長崎県学ぶ保育士等応援事業補助金」対象研修
演 題	子どもの探求から考える保幼小連携
内 容	講演
講 師	広島大学大学院 教授 中坪 史典 氏

参加者（合計 123 名）					
保育所	幼稚園	認定こども園	小学校	その他	広域都市圏
40	5	38	20	5	15



【感想】

- ・ともに学び、情報共有して、よりよい保育・指導にしていくこと、それを同時に積み重ねていくことが必要だと改めて学びました。私たち大人にこそ、「探求」が一層求められているように思いました。
- ・保・幼・小が一緒にこういう講演を聞けることは、とてもいいことだと思うので、また参加したいと思いました。
- ・幼稚園、保育園と小学校では教育方針や考え方が大きく違うことを改めて知り、考えさせられました。子ども達の学ぶ意欲を育めるようにしたいです。
- ・子ども自身の知識や経験が生かされる活動は、主体性につながると感じました。子どもが自分のアイディアで学びを深められるような学習環境を整えていきたいと感じました。
- ・日頃の保育実践を別の視点から捉え直し、考えることができました。探求、自己発揮を安心して夢中になれる環境をしっかり保障できるよう努めたいと思いました。
- ・子ども達の生き生きと活動する姿に感動しました。夢中になって取り組める課題、そして、安心して自分らしさを発揮できる場を創っていきたいと思います。

